

芎歸膠艾湯・艾葉

藥局文獻檢索資料

1999. 1. 18

潰瘍性大腸炎の1例

柴田 良治

生薬:

成分:

処方: 黄連解毒湯、芍薬膠艾湯、大柴胡湯、胃風湯、加味逍遙散、他

雑誌名: 現代東洋医学 12巻 1991年 ***号 115頁 通算 頁

報告: 治験例 標的器官: 消化器系

剤形: 投与経路: ヒト経口 投与量:

併用薬: プレドニン、サラゾピリン、ケフレックス

内容: 症例報告: 小児期から成人に至るまで約9年間の長い経過をたどった1例 (13歳、男) 症状の寛解には数多くの漢方を使用した。漢方治療が有効であったことを確信するものである。

参照: 難病、難症の漢方治療第4集 (臨時増刊号) 参照

顕著な体重増加をみた潰瘍性大腸炎の1例

秋葉 哲生

生薬:

成分:

処方: 胃風湯、真武湯、真武湯合人参湯、芍薬膠艾湯、当帰芍薬散

雑誌名: 現代東洋医学 12巻 1991年 ***号 112頁 通算 頁

報告: 治験例 標的器官: 消化器系

剤形: 煎剤 投与経路: ヒト経口 投与量:

併用薬: サラゾピリン

内容: 症例報告: 潰瘍性大腸炎 (31歳、女) サラゾピリンと和漢薬を併用して良好な結果を得た。

参照: 難病、難症の漢方治療第4集 (臨時増刊号)

潰瘍性大腸炎の漢方治療例

五ノ井 哲朗

生薬:

成分:

処方: 桂枝加芍薬湯、芍薬膠艾湯、補中益気湯、(六君子湯)

雑誌名: 現代東洋医学 12巻 1991年 ***号 109頁 通算 頁

報告: 治験例 標的器官: 消化器系

剤形: エキス剤 投与経路: 投与量: 7.50g/day

併用薬:

内容: ①症例報告 (33歳、女) 投与3週間後には粘血便消失などが認められ、その後良好な経過をみた。②潰瘍性大腸炎の方剤運用について。

参照: 難病、難症の漢方治療第4集 (臨時増刊号)

痔出血に対する漢方療法- 帰膠艾湯の使用経験-

石田 清

生薬:

成分:

処方: 芍薬膠艾湯

雑誌名: 漢方研究 巻 1989年 209号 35頁 通算 183頁

報告: 治験例 標的器官: 泌尿器・生殖器・肛門

剤形: エキス剤 投与経路: ヒト経口 投与量:

併用薬:

内容: 帰膠艾湯の痔出血改善効果について 参照: 「Progress in Medicine」-外科領域における漢方療法-1989.2, Vol19, No2

帰膠艾湯の使用経験

井上 勝六

生薬:

成分:

処方: 帰膠艾湯

雑誌名: 漢方診療 10巻 1991年 2号 31頁 通算 頁

報告: 治験例 標的器官: 泌尿器・生殖器・肛門

剤形: エキス剤 投与経路: ヒト経口 投与量: 7.50g/day

併用薬:

内容: 症例報告: 29例の下部出血に対し、帰膠艾湯を投与した結果、全症例が内服1週間以内に止血した。

漢方薬併用により副腎皮質ホルモン剤離脱に成功した潰瘍性大腸炎の3症例

土屋 典子

生薬:

成分:

処方: 啓脾湯、帰膠艾湯

雑誌名: 漢方診療 10巻 1991年 1号 22頁 通算 頁

報告: 治験例 標的器官: 消化器系

剤形: エキス剤 投与経路: ヒト経口 投与量: 7.50g/day

併用薬: プレドニゾン

内容: 症例報告: 潰瘍性大腸炎[50歳、女][50歳、女][35歳、女]漢方薬併用投与の結果、プレドニゾンの離脱、緩解導入に成功した。

アミロイドーシスの1例

李 思元

生薬:

成分:

処方: 帰膠艾湯

雑誌名: 現代東洋医学 13巻 1992年 ***号 140頁 通算 頁

報告: 治験例 標的器官: 消化器系

剤形: エキス剤 投与経路: ヒト経口 投与量: 9.00g/day

併用薬: サラゾピリン、グリチロン、リンデロン

内容: 症例報告: アミロイドーシス[51歳、男]6年間に及ぶ経過観察で大腸の可視病変に明らかな憎悪がないこと、臨床症状が改善しているという点から漢方製剤の投与が有効であったと思われた
参照: 難病、難症の漢方治療第5集(臨時増刊号)

症状別にみる妊婦と授乳婦の諸注意

青山 廉平

生薬:

成分:

処方: 小半夏加茯苓湯、帰膠艾湯、当帰芍薬散、他

雑誌名: 現代東洋医学 13巻 1992年 1号 28頁 通算 頁

報告: 治験例 標的器官: 泌尿器・生殖器・肛門

剤形: エキス剤 投与経路: ヒト経口 投与量:

併用薬:

内容: ①妊婦に起こり得る症状とその治療薬方: 感冒、妊娠悪阻症、流産予防出血、便秘、下痢、痔、妊娠中毒症、膀胱炎、腹痛、腰痛、弛緩性子宮出血の予防②授乳婦に起こり得る症状とその治療薬方: 後陣痛、出産後の調理、出血、貧血、乳汁分泌不全、産褥神経症、排尿障害、マクリ

和漢薬治療が奏功した、再燃を繰り返したクローン病の一例
小暮 敏明

生薬：
成分：
処方：芍薬湯、半夏瀉心湯

雑誌名：日本東洋医学雑誌 44巻 1993年 3号 181頁 通算 頁

報告：治験例 標的器官：感染・免疫系
剤形：エキス剤 投与経路：ヒト経口 投与量：7.50g/day

併用薬：サラゾスルファピリジン

内容：症例報告：クローン病(17歳、男)①漢方薬投与の結果、症状の改善が認められた。②本症の維持療法において、Element-Dietと和漢薬の併用が重要な位置を占める可能性が推察された。

漢方療法が奏功した潰瘍性大腸炎の一症例
実藤 隼人

生薬：
成分：
処方：人参湯、芍薬湯

雑誌名：日本東洋医学雑誌 42巻 1992年 3号 37頁 通算 頁

報告：治験例 標的器官：消化器系
剤形：煎剤 投与経路：ヒト経口 投与量：

併用薬：サラゾピリン

内容：症例報告：潰瘍性大腸炎(37歳、男)便潜血反応(+)時に、芍薬湯を投与し、その後人参湯と併用投与を行った結果、症状の改善が認められ又経過も良好であった。

生薬の薬理から漢方の薬効へ-香附子-

生薬：香附子

成分：

処方：

雑誌名：THE KAMPO 12巻 1994年 69号 26頁 通算 頁

報告：

標的器官：

剤形：

投与経路：

投与量：

併用薬：

内容：①成分②薬理作用③薬能④薬理から薬能へ